

第5回 江府町義務教育学校設置準備委員会【議事録】

■期日：令和2年9月18日（金）

■時間：19：30～

■場所：防災・情報センター 2階 研修室

<会議出席者>

【委員】手島委員長、谷田副委員長、井上委員、中田委員、河上委員、川上委員、
稲田委員、山川委員、北村委員、梅林委員、瀬尾委員、竹内委員
※宮本委員…欠席

【事務局】富田教育長、加藤課長、景山学事担当課長、岡田主事

1 開会

委員長挨拶

お疲れのところ、ご参集いただきましてありがとうございます。やっと気温も下がって、ほっとしているところ。コロナがまだ収束しない中で、小学校で運動会とか中学校ではアントレプレナーシップ教育とか、いろいろ工夫をしながら推し進めておられる。皆さん方も日中コロナに気をつけながらお疲れのところをご参集いただいてありがとうございます。先般教育委員会から、『奥大山江府学園通信』ということで、第2号にあたるが区長便で各家庭に配布された。今日は、校章の選定について検討する。いろいろ（応募作品が）出ていると思うが、それを選定していく。選定の方法については事務局の方で説明がある。ひとつのシンボルになるものなので、このシンボルに向かって喜びながらも頑張っていくシンボルになればいいなと思う。それを選定していただきたい。それから、校歌についてだが、校歌をどういうふうにして決めていこうかということも今日は議題で挙げている。今日で校歌が決まるわけではないが、方向性を決めたいと思う。これも事務局の方からお話をいただきながら、みんなで考えて校歌を制定していけばと思う。だんだんと柱組みができてきているので楽しみにしている。よろしく願いいたします。

2 報告

○保護者・学校及び学校・教委の取組状況（小中校長）

副委員長 報告をお願いします。

竹内委員 前回瀬尾委員からも話があったと思うが、入学式や卒業式、PTA 組織や部活動、制服等については、9月29日に町 P 連の会があるので、学校が中心に進めて PTA の方に保護者の方にご意見いただくもの、保護者の方で中心になって決めていただくものということで提案をしたいと思っている。9月17日、制服について2つの業者に来ていただいて、小中学校の管理職で話を聞いた。情報提供収集ということで、まずお話を聞いたというところである。現在はそのような状況。

瀬尾委員 教育委員会からも課長に参加していただいて、まずはどういうふうに進めたらいいかの材料として2社に来ていただいた。いろいろな学校の制服について話を聞いた。小学校1年生から全部という制服であったり、5年生からという学校もあった。中学校7、8、9（年生）も、様々なものがあるので、いろんな選択肢があるということなので、保護者の方と一緒に選んでいくような場、制服選定のやり方を話し合っていこうとを町P連で確認をするということになった。

副委員長 今報告いただいたが、これから進んでいくという方向性も見えてきているのかなと思うが、ご質問などあるか。（質問なし）では、進めていってまたご報告いただければと思う。よろしくお願いします。

3 協議

(1) 校章選定方法について

事務局 資料の1ページをご覧ください。9月15日より校章の公募を始めている。防災無線でお聞きになった方もあるかもしれない。ホームページにも挙げている。保育園、小学校、中学校にも、幼児児童生徒、保護者の方用にといいことで配布しているので、それを使ってご応募いただけるものと思っている。今日はまだ18日なので、今日現在では事務局の方には届いていないが、構想を練ってくださっているところだと思う。今後素敵な作品がたくさん集まってくるのではないかと考えているところ。選定については、前回の校名・校舎名の選定に準ずる形で選定を進めてはどうかと思っている。第1次選考として「全応募作品の中から6点の選定」する。前回、委員一人一人が応募作品から6点を選び集計するというので、前回付箋を貼っていただいた。それと同様に皆さんに6枚の付箋をお持ちいただいて、これがいいという作品に付箋を貼っていただく。その結果、投票の多い順に6点を選定する。前回と異なるのは、校名・校舎名の場合には、同じ校名、同じ校舎名を応募された方があり、それを集計する形であったが、校章の場合には同じということはないと思うので、貼られた枚数がそのまま集計の数になるというところが異なると思う。

第2次選考だが、第1次選考で選定された6点、もしかしたら同数によりもう少し数が増えるかもしれないが、そこから3点を選定する。3点の選定方法は、「委員一人が3点を選ぶ、その際、委員の意向を反映させるため、第1候補：3点、第2候補：2点、第3候補：1点を配点し集計する。」ということで、委員の皆さんには、これが1番いい、2番目はこれ、3番目はこれという視点をもって第2次選考に臨んでいただきたいと思っている。その結果、得点集計をして多いものから3点を最終選考の方にまわすというふうを考えている。第2次選考で選定された3点をさらに1点に絞るのは基本的には協議、話し合

いの中で決めるのが一番いいと思っている。前回は、最終的には投票というところもあったが、できればいろんなご意見を出していただきながら、奥大山江府学園にはこのシンボルがいいというお話を出していただくのがいいと思っている。合わせて、言葉以上に、このマーク、この校章がいいという説明というが、奥大山江府学園に通う子どもたちにも、町民の皆さんにもお知らせするという意味でも必要だと思うので、校章を選ぶ際にそれがどうして校章としてふさわしいのかということもぜひご協議いただけたらと思っている。

前回、話が出たが、作品がそのまま校章になるのか、ある程度修正というかマークとしての形にするには修正が必要だというようなことについてもご協議いただいて、補作という形で、マークらしいものに変えていくというのが必要であればそこも皆さんでご協議いただきたいと思っている。

選考日は、第6回準備委員会と思っている。次回ということだが。前回と同様、作品を見ていただく時間が必要だと思うので、午後7時には作品を並べて委員の皆さんに見ていただくようにしたいと思っている。ご覧いただいた上で、選考に入っていただくという流れで考えている。

校章は、最終作品が一つ決まるので、それが最優秀賞。それに漏れた作品は優秀賞と考えているが、案としては、第1次選考で選ばれた6作品、場合によってはもう少し増えるかもしれないが、それを優秀作品というふうに考えている。考え方によっては、第2次選考で選ばれた3作品のうち、最優秀から漏れた2作品を優秀賞にするという考え方もあると思うので、そこも皆さんのご意見を伺い、どういった作品を優秀賞にするのかということもここでご協議いただけたらと思っている。以前からお話しているように、準備委員会では予算を挙げていない。必要に応じて補正予算を上げるということにしているので、選考で決まった作品数に応じた形で予算を上げて、記念品を贈呈するように考えている。

日程については、9月15日～10月15日が応募期間。10月の下旬第6回準備委員会で作品選定。前回同様議会に報告をする、いまのところ12月に議会が開催されるので、そこで、こういった作品ですということで報告をする。その後、選定結果及び受賞者を皆さんにお知らせするという流れ。1月に表彰準備をして表彰と考えている。

副委員長 校章選定についてだが、選定の方法や表彰の在り方、補作の必要性といったところについて、ここで検討してほしいということであったが、確認しておいた方ということや、質問などあるか。よろしいか。では、選考方法だが、以前校名を決定した方法と同じ方法でよいのではないかという提案をいただいているが、この件についてはどうか。頷いている方が多いと思うが、特に反対の意見がないようであれば、提案された方法で行うというふうにしたいと思うが、よ

ろしいか。(反対意見なし)では、選考方法としては、前回行ったやり方で行うということになるが、そこで補作の必要性ということがあるが、これについてはどう考えるか。応募された作品をそのまま使うのがいいという意見もあるのかもしれないし、やはり必要に応じて補作をするということにするのかその辺りの判断と思うが。

事務局 補作については前回少しお話させてもらったということもあると思うが、チラシに「補作することがあります」と載せている。特にご意見がなければ、最終的にはその作品がどういう作品かということにもよると思うので、その作品を見ながらということでもいいのかなと思う。ここで補作はなしとかありというふうに入れるよりは、この作品はこのままでいいとか、この作品だったら補作の必要があるということも含めてご協議いただくといいのかなと。作品を見ながらということ。

副委員長 よろしいか。(うなずき)

委員長 えらいデザイナーの、高名な先生のデザインだと著作権があるので変えるわけにいかないが、町内の保護者とか町民の皆さん、子どもさんで了解が得られるならば、ちょっとだけこうすればいいかというような感じで、出てみてから話し合しましょう。

副委員長 では、そのような形でよろしいか。では選ばれた作品の中でということで、選ぶ段階でも、小さい子の作品とかで絵としてはすごい作品ではないがデザイン的にいいなというものがあれば積極的に選んでそれをマークに仕上げていくということもありだということと考えればいいということでもよろしいか。(うなずき)ではそのようにお願いします。表彰についてだが、最初に使われた6作品を優秀賞にするという案と、第2次選考に使われた3作品にするという案があるが、それについてはいかがか。

事務局 細かく言うと5作品。最優秀賞が1点あるので。5作品か、2作品かと。同数になればもう少し増えるのかもしれない。

副委員長 いかがか。確認だが、この前の校舎名の時の受賞者にはどのような形の予算をつけたか。

事務局 この度、9月の議会の方に補正予算に計上している。校名については、一万円ということで予算を上げさせてもらっている。事務局の方としては地元の名産品とか詰め合わせのような形がいいのかなと思っているところ。校舎名については、一人五千元ということで図書券かなというふうに思っている。校名・校舎名の一万円、五千元の金額については、検討したが、校名の方が校舎名以上に周知される部分もあるしということを見ると、そういうふうな予算になるのかなということで。来週が議会の最終日になる。そこで議決をして予算が通れば表彰の準備を進めたいと思っている。

- 副委員長 確認したかったのは、5名に送るのか2名に送るのかで、予算がある程度これだけあって、それを5名で分け合うのか2名で分け合うのかという考えなのか、1名くらいということ数で2名でも5名でも同じなのか予算的にはどうか。
- 事務局 この度の予算は、必要に応じて補正予算を上げていくという形になるので、人数の方が先に確定することになる。人数の方が決まったうえで、一人にいくらかということ、それかける人数で予算を上げるという形になるので、人数が多くなったから金額が少なくなるという考え方はない。そういう考え方で校名・校舎名も予算を上げさせてもらった。今回もそのようにさせていただこうと思っている。
- 副委員長 では、そのことも踏まえて2名なのか5名なのかというところのあたりはご意見いただければと思う。
- 委員 自分は5作品でいいのではないかと思う。採用されなくてもやっぱりかかわったという人が少しでも多く挙げられた方がより愛着が沸くと思うし、5作品の方がいいのではないかと思う。
- 副委員長 他の方、いかがか。委員、どうぞ。
- 委員 自分も同じで、校名・校舎名もそうだが、なかなかそういう機会もない。そういう意味では広く表彰される方が集まるような形がいいと思う。
- 副委員長 うなずいておられる方も多い。5名という意見でおおかたの方がうなずいておられるが、反対意見はあるか。よろしいか。では、広く5名の方に表彰できるようにというご意見で5名ということにしたいと思うが、それでよろしいか。
(うなずき)では、提案のように最優秀賞は選ばれた1点、あと優秀賞として5名の方を選出するというので決めたいと思う。
- 事務局 ひとつだけ確認というか想定として、皆さんに6票ずつもっていただくが、仮に第1位というか得票数がすごく多い作品が一つ決まった場合に、あと付箋が1枚ずつ貼ってあるものが、5位6位で10何作品という可能性もあるのかなと思うので、それはやはり委員さん方がこれがいいというふうにして選ばれたということなので、優劣がつけられないと考えると、上位から6作品ということだが、それが8作品10作品になるというのは可能性としてあるのかなと思う。そこはご理解いただいて。投票によってどのように変わるかわからないところもあるので。前は8作品くらいだったか、それくらいのところでおさまったが、それは投票してみたということになる。
- 委員 同じようなものが出るということはないと。
- 副委員長 その時に適切な判断をするというところでよろしいか。増える分にはいいと。無理に減らす必要もないということでもよろしいか。(うなずき)ではそのようお願いします。この選定方法についての協議はこの内容でもよろしいか。他に事務局としてはよいか。

事務局 ありません。

(2) 校歌について

事務局 この準備委員会での相談事項として、ブロック制から始まり、校名・校舎名、校章までできているが、この後校歌がある。校歌については、作詞、作曲という部分もあるし、引き継ぐという点からすると、町民さんの関心も高いというのもあるかと思う。そこも踏まえてご協議いただけたらと思っている。資料3ページをご覧ください。校歌の選定方法としては、今までの他の学校の様子も聞くと、主に2つの案があると思う。新しく校歌を制定する、制作をするという場合と、これまでの校歌を受け継ぐという場合。新たに校歌を制作する場合には、作詞作曲が必要になる。この作詞作曲も方法はいろいろあるかと思う。詞も曲も公募という形もあるかもしれない。準備委員会で詞を考えて曲も考えてということもあるかもしれない。また、そういった知識をお持ちの方に集まっていただくことで、別に制定委員会というのを立ち上げてというのかもしれない。場合によっては、そういった専門の業者に委託というのかもしれない。その組み合わせもあるかもしれない。いろんな方法があると思っているところ。

もう一つは、これまでの校歌を引き継ぐという場合。資料に江府小学校、江府中学校の校歌を参考までに挙げさせてもらっている。この校歌をもとにするということで。ただし、学校名が変わるので場合によっては歌詞の変更が必要になってくるだろうと。また、どちらも作詞をされた方があるので、その方の承諾というようなことも必要になってくると思う。参考までに県内の義務教育学校でいうと、江山学園は詞は公募され、準備委員会で選考をされた。曲は、鳥取市在住の作曲家の方に準備委員会から3曲依頼し、3曲の中でどれがいいのかということ準備委員会で選考された。鹿野学園については、詞も曲も基本的に鹿野中学校の校歌を採用ということで、一部歌詞を変更された。鹿野学園が準備委員会で出しておられる通信の校歌に関わる部分を抜粋したのが資料の4ページ、校歌の決定の経緯がそこに示してある。選定基準としても、鹿野の誇りである自然が盛り込まれているとか、鹿野中の伝統を継承するという思いも込めてそういうふうにしたという流れのよう。これはあくまでも鹿野であるので、この通りにする必要もないし、また新たにという考え方もあると思う。そのあたりを踏まえながらみなさんにご協議いただきたい。

今日初めて校歌のことを話題に出させていただくので、今日は、事務局としては皆さんが校歌についてどういったイメージをお持ちなのかということを出していただく、こういった校歌がいいのではないかという思いを出していただく。それを踏まえて、今度休み明け、9月議会で今日の準備委員会の中で出て

きた意見を報告させていただこうと思っている。その上で、住民さんの代表である議員さん方の意見もお聞きしながら次の準備委員会にその様子も報告させていただいて進めていけたらと思っている。町民の方もかなり関心が高いというのもお聞きしているので、皆さんの納得のいく形で進めたいと思う。今日はまずそのお考えについて出していただく機会にさせていただけたらと思う。

副委員長 今、事務局の方から話があったが、まず我々がどのようなイメージを思いを校歌にもっているかということを出し合い、それぞれの思いを出す機会にしたいということだったので、お一人ずつお聞き出来たらと思う。新たに作るか、もしくは校歌を受け継ぐかということになると思うが、どちらがいいのかというようなことや、どんな校歌がいいのかとか、なかなか例が言えないが、思いを出していただければと思う。いかがか。どなたからでも。この委員会で校歌を考えていくということも話題に上がってきていたので、おんぼらとでもイメージを持っておられるのかなと思うし、まだまだ自分の中の結論も出ていないということもあるかもしれないので、こっちもいいしこっちもいいけれどまだ決まっていなくてもそういう状態だということでも構わないので、今どういうイメージをもっておられるかということを出してもらえればと思う。

委員長 全員の皆さんの意見をお聞きすればと思うが、私は非常に思い入れが個人的にある。江府町立義務教育学校が設置され、それぞれ新たな出発があっているが、今までの歴史の中でこれだけは変わらんというものがぜひあってほしいという。過去の学校の校歌を脈々と伝えていくという。ご承知のとおり、草野心平、小山清茂、このお二人の作詞作曲どちらも超一流で、この組み合わせでまず県下で校歌をもっているところはない。私は高校野球が好きで何が好きかというと、勝った方が校歌を歌うところ。最近できた私立の高校なんかは、柔らかい雰囲気のある校歌もあるが、前橋工業という野球が強い高校の校歌が、草野心平さんと小山清茂さん。やっぱりいいなあという。日輪という言葉ももちろん出てくる。太陽。自分が勤めていたということもあるし、歴代の生徒さんや今は保護者になっておられたりする方も非常に思い入れがあるのではないかなというふうに考える。鹿野がそうだったからというわけではない。「ああ江府中」というのがある。「日輪は 天にあまねく」とあるが、最後から二行目「ああ江府中」と二拍半くらい。音楽のことはよくわからないが、「ああ江府中 われらが母校」とくる。その二拍の中には、「ああ 江府学園」と入る。ただ、奥大山という言葉は入らない。これはちょっと入らないので。みんなよくわかっていることなので、「ああ江府学園 われらが母校 光あふるる」と締めるといいのではないかなと。思い入れが強いもので。一番最初に思い入れが強いものからの順番になって。ぴったり入るので、どうだろうか。皆さんのご意見も聞きたいと思う。

副委員長 力強く歌っていただいた。この順番でよろしいか。おんぼらとでも。歌っていただいてもよいが。委員、お願いします。

委員 今委員長がおっしゃったように、この草野心平さんがなぜこの江府中学校の校歌をつくられたのかといういきさつをぜひ知りたい。この草野心平さんの詞も好きだし、ぜひこの校歌は残っていくべきだ、残したいと思っている。なので、自分は「ああ江府中」の「中」を「町」にし、できるだけ変えないけれども、最低そこは入れてそのまま校歌として引き継いでいきたいというふうに思っている。この小学校の方の校歌だが、校舎の歌みたいにして残せないものか。4つの小学校が1つになって、校歌が生まれて10年、みんなにすくなくないできて、大事にされている校歌なので、できたらブナの森校舎の歌としてこちらでも「江府小」を「江府町」にして、江府中学校校歌は奥大山江府学園の校歌であり、日野川校舎の校舎歌であるみたいな感じにして、両方とも生かしていただければいいなというのが自分の考え。

副委員長 ありがとうございます。委員、お願いします。

委員 自分も、校名が決まった時に校歌に校名を入れるのはちょっと大変だなと。「奥大山江府学園」を歌にするのは難しいかなと思った。校歌がこういうものがあつたらいいというのは、自分は専門外。確かに委員長がおっしゃるように、それぞれの学校のレガシーがあるものが入っているから、江府中だけ残すという考え方にはならないかもしれない。草野心平さん、学がなくてわからないが、すごい人なら後で調べてみようと思う。新しい学校をつくるのだから全く新しいものでもいいかもしれないと委員長の話を聞くまでは思っていたが、そういうふうに江府中の校歌がみんなが歌えるものが残っていくというのもいいかなと思ったので、自分は「こうあるべきだ」ということは、ちょっとまだまとめてない。ただ、決め方としては鹿野学園の製作委員会のように、準備委員会でどのように校歌があるべきだと決めたわけではなかったような気がしたので、校歌を決める委員会みたいなものがあってもいいのかなと思った。

副委員長 新しいものという思いもあるし、中学校のものでもいいのではないかと揺れる思いや、決め方についてもそういった専門の組織があつていいのではないかと提案があつた。次お願いします。

委員 自分も、そもそもの話、学校名も変わるし、何がいいかというのがはっきりわからないところがあるので、専門の選定委員会みたいなものを作って、専門家の人たちも含めて、作っていただいた方がいいのかなと。自分も委員と同じで、いろいろ思うが、あまりに専門外すぎてなんとも言いようのないところ。私も草野さんといえばスーパー仁くんくらいしか。中学校の校歌は歌っていたので思い入れはあるが、ただ新しくなった時にそのまま引き継いでいいのかという

のもある。なんとも言い難い。いいことだとは思いますが、その辺りがどうかあまり自分で決定できないなというのがあるので。別に専門的な方を中心で作っていただいた方がいいのかなと思ったりする。あと、やっぱり校歌は一つなのか。意見があったように、小学校の校歌がなくなってしまうのがどうなのかなというのがあったりする。いいこと言われたなと思ったのが、校舎の歌として残すというのもひとつあるのかもしれないが。先ほど言った通り、本当に新しく作るというのもまたひとつかな、その辺私もなんとも今のところは。

副委員長 わかりました。では、委員お願いします。

委員 小学校の校歌って公募で歌詞をもらってそれを集めて作ったのか。

事務局 江府小？それについては、瀬尾委員いかがか。

瀬尾委員 自分はその時指導主事だったが、校歌選定委員会というのを作って1年、2年くらい町内の専門家の方、鳥大の方、専門家の方に集まっていたので何回も検討され、歌詞の候補を作られ、選定委員会の中でどれがいいかという話し合いをされて、それから曲をつけてもらいましょうということで、曲を依頼された。最終的に2つに絞られて、最後には子どもらしい感じというのが選ばれて、決まった。公募だが、みなさんの思いが詰まった歌詞を選ばれて選ばれて選び抜いて（決まった）。4校学校がなくなって新しくなったので、校歌は新しくするのがいい。もちろん残すことができなかった。ただ、後々去年10周年をしたときに、4校の校歌を全部子どもたちが歌いあげてくれて、復活した時は感動的だった。明倫の校歌はこうなんだってとみんながわかったり、米沢はこう、江尾はこうというのが。それぞれカラーがあって、似たところがあるねとか、三拍子だねとか、いろんなことを言っていたが、やっぱりそれぞれの学校の校歌は素晴らしいなあということで蘇った校歌だった。なにかCDで残すとか、何かで残しておくのはいいのかなと。

もうひとつ。木下忍先生という方がいらっしゃって、その方が作ってくださった小学校の卒業式に歌う歌がある。これもすごくいい曲なので、卒業式の曲だが、今度の5年生の時に6年生が向こうに行くときの式に歌うという曲として、これは大事にとっておこうねと。ただ、歌詞に「江府小」が出てくるのでそこを直したりして、使えるかなと思っている。そういう曲もあるし、この校歌は校歌で何か残せるのかもしれないが。ただ歌詞を変えると、その校歌ではなくなるので、そのあたりもどうか。卒業式の歌は歌詞を変えて使えるかなと思ったりする。

副委員長 その説明を受けて、どうぞ。

委員 みんなの思いが集まって作られたということ、うろ覚えだったが聞いていて、中学校の校歌も思い入れというかなじみ深い校歌だが、それをどっちがどっちというよりは、やっぱり新たに作って、また新しい学校なので新たに作ったほ

うがいいのではないかなと。この校歌は、委員も言われたが、何らかの形で残していくというふうにしたほうがいいのではないかなと思う。

副委員長 わかった。委員長、何か。

委員長 江府小学校の校歌を決めるときにちょっとかかわっていたので、そのところを話をしておきたいと思う。8人くらいだったか、音楽を町内で指導している人や、コーラスの指導あるいは愛好家や、教育委員さんなど8人くらい集まって、歌詞を作った。歌詞を作っているいろいろできたが最終的に2つに絞られた。で、もうちょっと低学年用の子どもさん向けの校歌もできていたが、結局話し合っこの校歌の作詞が決まった。それをもって鳥取大学の新倉先生といって作曲される先生がおられて、県下で活躍しておられるが、その先生に作曲をしていただきたいとお願いしたところ、快く引き受けてくださった。曲は覚えていないが、いい曲だったのではないかなと思う。江府小学校の校歌もいいと思う。だから、校舎の歌として残す方法もあるなあと。せっかくできて間もないわけなので、そういうことも、委員も言われたし、みなさんもそういう考えをお持ちのようで。校舎の小学生さんが歌われる、校舎歌というのか、いい名前をつけないといけないと思うが。

副委員長 では、委員。

委員 自分は校歌については、今の中学校の校歌を使えたらいいなと思っている。理由は、やはり60年近く江府町の人たちが歌ってきたなじみ深い歌なので。新しい学校になるけれども、この曲は大事にしていきたいなというふうに思うから。自分もどんなふうに最後、文字がはまったらいい具合にいくかなと考えてみた。委員が言われた、「ああ江府中」のところを「(ああ)江府町」にして、最後の「光あふるる」を「奥大山江府」としても、ちょうど字面がいい具合にはまるかなと思ったりした。中学校の校歌を残すのであれば、そういう形で残したらいいかなと思った。

副委員長 わかった。では、委員。

委員 なかなか決めにくいですが、両方の意見もあると思うので、新しく作ることもできると思うし、例えばできるかどうか私もわからないが、歌詞をいいところをとらせてもらって、草野心平さんがいいと言われるかわからないが、歌詞をとってリメイクするというのもありかなと。奥大山江府学園がうまくはまらないというのはやっぱりそれは新しい学校になるから、はまるというとなかなかはまりにくいと思う。であるからやっぱりそれだったら、この歌詞を生かしたリメイクというのもできるかもしれないなと思った。ただ、思い付きで言っているだけなので。ただ自分が思ったのは、皆さんの思いがこもった、これを残したいなという思いが強ければ、それでいいと思うし、いや、新しいのがいいなと思えばそれでいいと思う。皆さんの気持ちがこもってればそれだというふう

に思うので、それに従っていきたいと思っている。

副委員長 はい。では、委員。

委員 自分もやはり、中学校の校歌はそのまま残していただけたらなと。私の子どもは江尾小で入学し、統合で江府小に変わった。親としては、自分も江尾小学校出身だったもので、子どもの入学の時は懐かしいなと思っていたのが途中で変わってしまってみたいのがあったので、残していただけたらなと思う。

副委員長 わかった。委員。

委員 自分も江府中学校の校歌を残したいなと。中学校の保護者さんの中でもぜひ江府中学校の校歌を残してほしいという声を聞いているので。準備委員会だけではなく、他の方々の意見を聞くのも必要なのではないかなと思う。

副委員長 わかった。広く意見を求めるということもだが、中学校ということ。委員はいかが。

委員 自分も委員と同じような感じだが、江府中学校の校歌はよく覚えているというか、思い出もあるので、何かしらの形で残ればいいなと思っていたが、学園の名前を充てるというのがどこまで充てたほうがいいのかそんなのもわからないので、そういう詳しい人とかの意見とか参考にしながらしたらいいのではないかなと思う。

副委員長 わかった。委員。

委員 今あるそれぞれの校歌を上手に残す方法を考えて、学園の校歌は新しくできるのではないかなと思う。必ずこの校歌でないといけないというのはないと思う。あと、委員と同じような感じだが、もっと広く、ここだけではなくて。校歌に対する思いはそれぞれ持っているはずなので、その意見をもっと汲み取る方法を考えたほうがいいのかではないかなと。自分は町外から来たのであまり思わないが、生まれ育ったところの小学校、中学校の校歌はやっぱり大事にしている人がいっぱいいると思うので。ここだけでは決めきれないのではないかな。それで決めて恨まれるのは嫌。お前町外の人間だろうと言われると確かにそうだから。

副委員長 いろんな思いがあるのは聞いたほうがいいのかという。確認だが、それぞれの校歌を残して新たなものをという意見か。

委員 学校が新しくなるので、校歌は新しくすればいいのではないかなと思うが、小学校中学校の校歌に対する思いがそれぞれみんな強いので、それはなんらかの形で。中学校の校歌を新しい学校の校歌にして、小学校の校歌を校舎の歌に残しますだったら、新しい歌をしてそれぞれの校舎歌として残すこともできるだろうし、今ある小学校中学校の校歌を大切に残す方法さえあれば、新しい校歌でもいいのではないかなと。それをちょっともんでいかないといけないが。

副委員長 自分も、個人的には江府中学校の校歌に対する思い入れは強い。何かの時に大

人の人も、結構年配の方も歌われる。中学校の卒業式に行っても、来賓の方々も歌っておられる姿を見るとじーんとくるなというのがある。逆に自分の場合、江府小学校の校歌というのは自分たちの校歌ではなかったので、今の私たちの子どもにとっては大事な歌だとは思いますが、大人の都合ではないが、思い入れというのは中学校の方が強い。長い歴史もあるし、思い入れがある。それが残ってこれからも歌われるというのはいいなと思うし、歌詞もこの雰囲気も個人的には好きだなというのがある。奥大山という言葉が町外に出たときにも、広く、鳥取県の大山の南側だよとみんなで話ができるのと同じように、その情景が浮かぶような歌詞だというようなことや、草野心平さんというのは自分たちが子どもの時にケルルクックの、教科書みたいに読んでいた、その草野心平さんが作ったんだなんて中学校に行ったときに単純に感動したのもあったりして。有名な人が作っているからということが全て価値があるということでもないかもしれないが、やっぱりそれによって深く大事だなという思いが刻まれている自分自身もあるなという思いがある。自分はこの中学校（校歌）を残したいというのがある。個人的な意見だが。

それぞれの思いを出していったところで、今度議会の方でもこういう話し合いの意見があったということ報告していただいて、議会の方でも意見をもらって、事務局もおっしゃっていたが、町民の代表の議員さんの意見ももらうということで、その部分も大事じゃないかということもあったので、これをまた基にして、校歌を制定する方向にしていく。今出てきた意見をざっと言うと、新しい校歌を作るほうがいいのではないかという意見もあったし、中学校の校歌を残す、そのまま学園の校歌に歌詞を少し変えながら決めていくというのがあった。それぞれの校舎の歌でいくというのもいいのではないかというのもあったし、もう一つは、選定する組織がこの準備委員会ではなく、ある程度専門の方とか詳しい方とかも入った上での新しい組織がいいのではないかという意見もあった。今後これでいくという方針がここで決定したわけではないが、これをどうするか、議会の方に。

事務局 ありがとうございます。委員さん方の校歌に対する思いを聞かせてもらって。改めて校歌って大事なんだということも思った。本日いただいた意見については、委員さん方からこういった意見が出ましたということは議会の方に報告をさせていただいて、また議会の方からもご意見をいただきながら皆さんが納得する形というのを探していきたいと思っている。もしからしたら必要に応じてそういう専門の委員会ということになるかもしれないが、いずれはどこかで決めなくてはいけないので、そのときにはやはりここが母体というか、そういったことになると思う。引き続きまたご検討いただいていい案を出していただくといいかなと思っている。ありがとうございました。

副委員長 校歌については次回その議会の分の報告もいただいてということになるかと思う。

(3) その他

副委員長 その他については、事務局から何かあるか。

事務局 今のところない。委員さん方からは何かあるか。よろしいか。

4 その他

※第6回の期日について協議

5 閉会

委員長 いろいろとご意見を出していただきありがとうございました。それぞれの思い入れがあるわけで、子どもたちにとっていい校歌ができますようにみんなでもまた話合いたいと思う。議会で進捗状況を話をされて、その意見をまた参考にして、決めるのはここであるので、あくまでも。そのつもりでいていただきたい。ありがとうございました。

副委員長 これで第5回の準備委員会を終わる。お疲れさまでした。

○第6回委員会

① 日時：令和2年10月26日（月）19：30～

② 場所：江府町防災・情報センター 2階情報研修室